

人権課題を解決するために

# 拉致問題を考えよう！

(120分)

【対象者】

保護者や成人一般

20人～40人程度

【関連する視点・課題】

人間の尊重・価値の尊重

拉致問題と人権

## ねらい

北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」を視聴し、「拉致問題」は人間の生命や安全を脅かす重大な人権侵害であることを理解します。また、拉致問題は他人事ではない、また、解決しなければならない人権課題であることを認識するようにします。

## 準備

- 北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」
- DVDプレーヤー ○模造紙 ○付箋紙
- マジックインキ ○シール ○ワークシート

## アクティビティの実際

導入  
(10分)

### アイスブレイキング

- ※「安心フルーツバスケット」を実施する。  
(13ページ参照)

質問例

- 「昨日、夕食をとった人」全員が椅子に座ったら、何人かに「誰と夕食をとりましたか？」
  - 「家族で旅行したことがある人？」など
- ※例のような家族で楽しく過ごした経験等の質問をいくつか入れることにより、この後のアクティビティに関連させる。

展開  
(20分)

### シールで仲間！

- 1 参加者に目をつぶらせ、背中に、緑・赤・青・白・黄のシールを貼ります。
- 2 目をあけさせ、他の人と話さないで、同じ色のグループをつくるようにします。
- 3 赤と白のシールは一枚しか用意しないようにします。
- 4 何人かにインタビューをして、このアクティビティをやった感想を発表します。特に一人だけになってしまった人には、必ずインタビューして、どんな気持ちだったかを発表します。（「寂しい」、「差別されたようだ」等）

展 開  
(70分)

### 拉致問題について学習しよう！

- 1 「北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ『めぐみ』」(25分)を視聴し、感想等を記入します。

#### 説明1

拉致されて連れ去られる船の中でめぐみさんはどんな気持ちであったかを考えて、ワークシートに記入してください。

#### 説明2

娘を拉致された横田夫妻はどんな気持ちであったかを考えて、ワークシートに記入してください。また、その他感想等があればワークシートに記入してください。

- 2 横田めぐみさんから奪われた人権について考えます。

#### 説明3

北朝鮮に拉致されて、めぐみさんからどのような人権が奪われたと考えますか。思いついたことを、付箋紙に書いてください。

- 3 5人から6人のグループをつくり、めぐみさんから奪われたと考えられる人権について話し合います。

#### 説明4

各グループで、めぐみさんから奪われたと考えられる人権を一人ずつ発表し、付箋紙を模造紙に貼りつけてください。次に貼られた付箋紙を似ているものでグループ分けをし、タイトルを考えマジックで記入してください。

- 4 各グループで横田めぐみさんから奪われた人権について、どんな話し合いになったかを発表します。

ふ り 返 り  
(20分)

### ふり返り

拉致問題について、改めて考えます。

例1) 拉致問題について、どんなことがわかりましたか。

例2) 拉致問題は、重大な人権問題といわれていますが、それはなぜですか。

## ポイント



- ここでは、「拉致問題」を人権課題の一つとして扱うので、政治的なこと、政策的なことには触れないようにします。
- 参加者の中に在日韓国人、在日朝鮮人の方がいたとしても国家批判、民族差別に発展することのないよう、ファシリテーターは十分留意することが大切です。

### 【応用・発展のために】

○政府拉致問題対策本部のホームページ「よくわかる拉致問題」等の資料を参考にし、拉致問題についてさらに詳しく学習することも可能です。

(<http://www.rachi.go.jp/jp/ratimondai/yokuwakaru/index.html>)

※「北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ『めぐみ』」は、内閣官房拉致問題対策本部から平成20年に全ての市町村立小・中学校、市町村教育委員会、県立学校、県立図書館に配布されています。また、ホームページからも無料でダウンロードできます。( <http://www.rachi.go.jp/jp/megumi/index.html> )

## 「拉致問題を学習しよう！」ワークシート

- 1 アニメ「めぐみ」を見て、次の質問等にお答えください。
  - (1) 作業員に拉致され、連れ去られる船の中で、横田めぐみさんはどんなことを考えたでしょうか。
  - (2) 娘を拉致されたことを知った横田夫妻はどんな気持ちだったでしょうか。
  - (3) その他、感想等があればお書きください。
- 2 拉致問題についての学習で、考えたこと、感じたことはどんなことですか。

## 拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律

(平成十八年六月二十三日法律第九十六号)

最終改正：平成十九年七月六日法律第一〇六号

### (目的)

第一条 この法律は、二千五年十二月十六日の国際連合総会において採択された北朝鮮の人権状況に関する決議を踏まえ、我が国の喫緊の国民的な課題である拉致問題の解決をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題への対処が国際社会を挙げて取り組むべき課題であることにかんがみ、北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮当局による人権侵害問題の実態を解明し、及びその抑止を図ることを目的とする。

### (国の責務)

第二条 国は、北朝鮮当局による国家的犯罪行為である日本国民の拉致の問題（以下「拉致問題」という。）を解決するため、最大限の努力をするものとする。

- 2 政府は、北朝鮮当局によって拉致され、又は拉致されたことが疑われる日本国民の安否等について国民に対し広く情報の提供を求めるとともに自ら徹底した調査を行い、その帰国の実現に最大限の努力をするものとする。
- 3 政府は、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題に関し、国民世論の啓発を図るとともに、その実態の解明に努めるものとする。

### (地方公共団体の責務)

第三条 地方公共団体は、国と連携を図りつつ、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民世論の啓発を図るよう努めるものとする。

### (北朝鮮人権侵害問題啓発週間)

第四条 国民の間に広く拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題についての関心と認識を深めるため、北朝鮮人権侵害問題啓発週間を設ける。

- 2 北朝鮮人権侵害問題啓発週間は、十二月十日から同月十六日までとする。
- 3 国及び地方公共団体は、北朝鮮人権侵害問題啓発週間の趣旨にふさわしい事業が実施されるよう努めるものとする。

### (年次報告)

第五条 政府は、毎年、国会に、拉致問題の解決その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する政府の取組についての報告を提出するとともに、これを公表しなければならない。

(国際的な連携の強化等)

第六条 政府は、北朝鮮当局によって拉致され、又は拉致されたことが疑われる日本国民、脱北者（北朝鮮を脱出した者であって、人道的見地から保護及び支援が必要であると認められるものをいう。次項において同じ。）その他北朝鮮当局による人権侵害の被害者に対する適切な施策を講ずるため、外国政府又は国際機関との情報の交換、国際捜査共助その他国際的な連携の強化に努めるとともに、これらの者に対する支援等の活動を行う国内外の民間団体との密接な連携の確保に努めるものとする。

2 政府は、脱北者の保護及び支援に関し、施策を講ずるよう努めるものとする。

3 政府は、第一項に定める民間団体に対し、必要に応じ、情報の提供、財政上の配慮その他の支援を行うよう努めるものとする。

(施策における留意等)

第七条 政府は、その施策を行うに当たっては、拉致問題の解決その他北朝鮮当局による人権侵害状況の改善に資するものとなるよう、十分に留意するとともに、外国政府及び国際連合（国際連合の人権理事会、安全保障理事会等を含む。）、国際開発金融機関等の国際機関に対する適切な働きかけを行わなければならない。

(北朝鮮当局による人権侵害状況が改善されない場合の措置)

第八条 政府は、拉致問題その他北朝鮮当局による日本国民に対する重大な人権侵害状況について改善が図られていないと認めるときは、北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する国際的動向等を総合的に勘案し、特定船舶の入港の禁止に関する特別措置法（平成十六年法律第百二十五号）第三条第一項の規定による措置、外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百二十八号）第十条第一項の規定による措置その他の北朝鮮当局による日本国民に対する人権侵害の抑止のため必要な措置を講ずるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

附 則（平成一九年七月六日法律第一〇六号）

この法律は、公布の日から施行する。